

平成 29 年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	詳説「日本史B」 (山川出版社)						
副教材等	図説「日本史通覧」 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・歴史的な視点を身につけ、資料を読み解く感性を磨く。
- ・歴史上の出来事の因果関係を探る。
- ・日本と世界との歴史的交流を学び、現在の日本の国際的立場を考える。

2 学習の到達目標

- ・わが国の歴史的展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら考察させ、歴史的思考力を培う。
- ・わが国の伝統と文化への認識を深め、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
- ・現代の諸課題を近現代史と関連づけながら考察する事が出来る。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近現代史の学習を通して、日本の歴史に対する関心と問題意識を高め、現代の諸課題に対して意欲的に取り組み、国際社会の中で日本国民としての責任を自覚し行動する。	現代社会の諸問題を歴史的観点から考察し、客観的・公正に判断して、その結果を自分の主体的意見として適切に、表現できる。	日本の近現代史の諸資料を目的に応じて収集・取捨選択・読解・加工できる。	日本の近現代史についての基本的な事柄や、時代の大まかな流れ、世界史や地理的条件との関連を理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	レポート ワークシート 観察 研究発表 等	定期考査 確認テスト レポート ワークシート 観察 研究発表 等	定期考査 確認テスト レポート ワークシート 観察 研究発表 等	定期考査 確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	二つの世界大戦とアジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本近代史(幕末～明治)の概説</li> <li>・第一次世界大戦と日本</li> <li>・ワシントン体制</li> <li>・市民生活の変容と大衆文化</li> <li>・恐慌の時代</li> </ul>	○			○	a: 近代国家の展開と社会・文化の時代的变化に関心を持ち、意欲的に主題に取り組んでいる。 b: 当事の対外政策の推移や、大戦を国際的視点で考察し、その過程や結果を適切に判断・表現している。 c: 大戦後の国際社会の変化や恐慌に関係する諸資料を収集・選択し、それを読み取り図表などにまとめている。 d: 当事の基本的な歴史的事柄や、近代戦の性格と平和の意義について理解し、正しい知識を身につけている。	ワークシート レポート 定期考査
2学期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・軍部の台頭</li> <li>・第二次世界大戦</li> </ul>	○	○	○	○	a: 第二次大戦の原因・影響と、平和の意義などに対する関心を高め、それらを意欲的に追求しようとしている。 b: 軍国主義化の原因・過程を多面的に考察し、軍部台頭を論理的に説明できている。 c: 第二次大戦に関する諸資料を収集・選択し、戦争や平和についての簡単な資料を作成できる。 d: 国際社会の中で日本が孤立し、戦争へと突き進んでゆく過程を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート レポート 定期考査 研究発表

2 学期	占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・占領と改革</li> <li>・冷戦の開始と講和</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 占領政策と戦後諸改革の歴史的意義に関心を持ち、戦後民主化の諸問題について意欲的に学習している。</li> <li>b: 大戦後の国際関係や日本の立場を客観的・多角的に考察し、その学習成果を適切に表現している。</li> <li>c: 戦後改革の諸資料を収集し、有用な情報を選択して、グラフや図表で表示できている。</li> <li>d: 大戦後の日本と世界についての基本的事柄と、国際政治・経済の変化と関連づけてその知識を身につけている。</li> </ul>	ワークシート レポート 定期考査 研究発表
	3 学期	高度経済成の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・55年体制</li> <li>・経済復興から経済成長へ</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 戦後経済の復興と成長に関心を持ち、その原因や影響、諸問題に対して意欲的に学習している。</li> <li>b: 戦後政党政治の変遷について客観的・公正に考え、判断し、適切に表現している。</li> <li>c: 経済成長期の変化を示す諸資料を選択して、目的に応じて適切な形で表現している。</li> <li>d: 戦後政治と経済の基本的事柄と、日本が国際社会の中で果たす役割を適切に理解し、その知識を身につけている。</li> </ul>
	激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済大国への道</li> <li>・冷戦終結と日本社会の動揺</li> <li>・日本と国際社会の現代的諸課題</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 日本と世界の抱える現代的課題に関心を持ち、国際社会での日本の役割を考え、主体的に貢献しようとしている。</li> <li>b: 冷戦後の諸問題を歴史的に考察し、国際的視野に立ち公正に判断・表現している。</li> <li>c: 経済大国として日本が世界に貢献している諸資料を整理して、分析・提示している。</li> <li>d: 現代の日本と世界の諸課題に関する一般的知識を身につけている。</li> </ul>	ワークシート レポート 定期考査 研究発表

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度  
c: 技能

b: 思考・判断・表現  
d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。